

みずほCustomer Desk Report 2017/09/01号(As of 2017/08/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.47	1.1891	131.34	0.9636	1.2917	0.7905
SYD-NY High	110.67	1.1912	131.58	0.9679	1.2934	0.7951
SYD-NY Low	109.88	1.1823	130.70	0.9583	1.2852	0.7872
NY 5:00 PM	109.97	1.1909	130.93	0.9588	1.2933	0.7946
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.49/8.865		25RR	0.978	Yen Call Over	
NY DOW	21,948.10	55.67	債券市場			
NASDAQ	6,428.66	60.35	日本2年債	-0.1610	▲1.4bp	
S&P	2,471.65	14.06	日本10年債	0.0090	▲0.2bp	
日経平均	19,646.24	139.70	米国2年債	1.3255	-	
TOPIX	1,617.41	9.76	米国5年債	1.7020	▲1.5bp	
シカゴ日経先物	19,675.00	110.00	米国10年債	2.1170	▲1.4bp	
ロンドンFT	7,430.62	65.36	独10年債	0.3610	0.2bp	
DAX	12,055.84	53.37	英10年債	1.0340	0.4bp	
ハンセン指数	27,970.30	▲124.31	豪10年債	2.7140	3.5bp	
上海総合	3,360.81	▲2.82	為替市況	USD/CNH	6.5966	▲0.0025
USDJPY 3M Vol	8.94	0.08%		ドルインデックス	92.59	▲0.30
USDJPY 6M Vol	9.20	0.06%	商品市況	CRB指数	180.857	3.98
EURJPY 3M Vol	8.90	▲0.01%		NY金	1,322.20	8.10
EURJPY 6M Vol	9.39	0.01%		WTI	47.23	1.27
				Dubai Spot	49.67	▲0.43

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月31日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	8月 51.7/53.4	51.3/-
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	7月 -1.2%/2.7%	-0.6%/2.9%
	16:55	独 失業率	8月 -5K	-6K
	18:00	欧 失業率	7月 9.1%	9.1%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)・1次速報	8月 1.2%	1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	236K
	21:30	米 個人所得/個人支出	7月 0.4%/0.3%	0.3%/0.4%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	7月 0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	8月 58.9	58.5

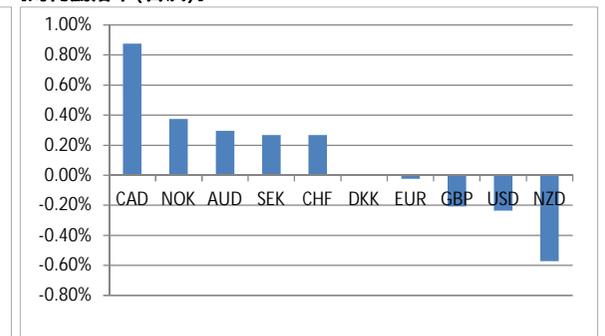
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月1日	10:45	中 Caixin 製造業PMI	8月 51.0	51.1
	17:00	欧 マークイット 製造業PMI・確報	8月 57.4	57.4
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化/失業率	8月 180K/4.3%	209K/4.3%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.6%	0.3%/2.5%
	22:45	米 マークイット 製造業PMI・確報	8月 52.5	52.5
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 56.5	56.3
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 97.5	97.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	<p>おアニア時間こそ110.20をつける局面があったものの、リスクセンチメントが一段と後退する地合とはならず、ドル円は110.47レベルまで強含んで東京時間オープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大させたことや、前々日に1.20台まで上昇していたユーロドルがECB高官によるユーロ高けん制が出るのではないかと警戒感から軟調推移となったこと等がドル買いをサポートした。公示仲値の発表時間にかけては月末に絡んだ本邦実需の円転70も意識され、110.35近辺まで下落する。しかし、政井日銀審議委員が「物価目標達成時期の後ずれは望ましいことではない」、「物価2%に向けたパスをたどるよう、政策を遂行していくことが重要」と発言したことが一部では材料視され、ドル円は110.61まで反発。午後に入ると、日経平均株価が一段と上値を拡大させ、米10年債利回りが2.15%台まで上昇する中、ドル円は110円台半ばで堅調推移。引けにかけては東京時間高値110.62をつけた後、110.57レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)</p>
ロンドン	<p>ロンドン市場のドル円は、110.57レベルでオープン。赤三兵(陽線が3本続く、買いシグナル)が示現する中、ドル買いが継続し110.67まで上昇。その後は小緩み、オープンと変わらない110.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2918レベルでオープン。英中銀金融政策委員会のソーンダース委員が、インフレ率が数か月間で約3%上昇する見方を示し、EU離脱に備えて金利を過去最低水準に据え置くのは不適切、直ちに利上げを開始すべきと主張したものの、ハルニエ主席交渉官が、英国の離脱方針文書を受け入れについて「不可能」と発言したことが嫌気され、ポンドは1.2857まで下落。1.2858レベルにてNYに渡った。ユーロドルは、1.1875レベルでオープン。発表されたユーロ圏7月失業率は9.1%と、予想と一致したため特段の反応は見られなかった。一方で関係筋の話として、ECB当局者の間では「9月7日の次回理事会で何らかの決定をする可能性は非常に低い」、「急激なユーロ高を懸念している」、「量的緩和縮小が緩慢となる可能性がある」との認識が広がっていると報じられ、ECBによるテーラリング期待が後退すると1.1834まで下落。結局、1.1838レベルでNYに渡った。(ロンドン7月 - 00531 444 179 山本)</p>
ニューヨーク	<p>ドルショートポジションの巻き戻しは収束するとの見方が出るものの、ユーロドルが軟調に推移する動きにドル円は110.67まで上昇し、110.57レベルでNYオープン。朝方発表された7月個人所得は予想を上回ったものの個人支出が予想を下回る強弱混在の結果となった。一方で、米7月PCEコアは予想と一致したものの、前回から低下したこととドル売りが優勢となり、ドル円は上値を切り下げる。その後も米7月中古住宅販売契約が予想を大きく下回るマイナス成長となり、前回分も下方修正されたことや、正午前になりムニューシンの財務相の「米国の貿易は弱いドルの方がやや好ましい」との発言が伝わるとドル売りが加速、110.00を下抜けて109.91まで下落した。その後一旦110.21まで戻す局面もあったものの、再びドル売りが優勢となり安値109.88まで下落。結局、109.97レベルでクローズした。一方、ユーロドルはECB関係筋による報道やドルショートポジションの調整に上値を切り下げ、1.1838レベルでNYオープン。朝方は1.1823まで下落するものの、米7月PCEコアや、米7月中古住宅販売契約の結果を受けたドル売りに加え、ムニューシンの財務相の発言を受けユーロ買戻しが強まり、1.1908まで戻す。その後一旦1.1871まで下押しした局面もあったものの、再びドル売りが優勢となったことから下値を切り上げて1.1912まで戻し、1.1909レベルでクローズした。(NY井上)</p>

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.75 - 110.25	1.1900 - 1.1950	130.80 - 131.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は反落。ムニューシン米財務長官が「ドル安は米国の貿易にとって好ましい」と発言したことや7月住宅販売保留指数が予想を大きく下回ったことを材料に売り優勢となり上値を押し下げられた。本日は「イベント待ちとなる中、もみあい」を予想。米雇用統計の発表を控えていることから、日中は様子見姿勢が強く、方向感に欠ける展開となろう。1ドル=110円を挟んでのもみあいを予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。